

[曲名] C'era la Luna

月ありき

[曲種] serenata

セレナータ

[作曲者] Umberto De Martino

ウムベルト・デ・マルティーノ

[編曲者]

マンドリンの故郷イタリアで最もマンドリンが栄えた頃即ち1908年に本曲が誕生した。

ミラノのイル・プレットロ主催第一回作曲コンクールでは、約150曲の作品が集まり、著名なヴァンツォ(1862-1965)を審査委員長として9人の受賞者が出たが、

本曲の作者デ・マルティーノもこの一人で、1909年ベルガモで開かれた演奏コンクールに課題曲となつてから一般に愛奏されるようになった。

経歴に就いては知られていないが、その後第二回作曲コンクールにもティティナ・ガボットを提出しB項に一位入賞している。

本曲月ありきの中程に現れるイ長調及び嬰へ短調の和音上を跳躍するメロディはティロルの民謡等とも又違った澄明な美しさを湛えたもので

鮮やかに空に浮き出たイタリアの月を見る心地がする。

作者の友人カルロ・フェルラーロ氏に贈られた。

数あるマンドリンのセレナータの中でも特に美しい。

他にマンドリンギター曲で「淋しき家に」「燈台へ」等がある。

1969年10月31日発行

イタリアのマンドリンアンサンブル佳曲百曲集第一集より

